

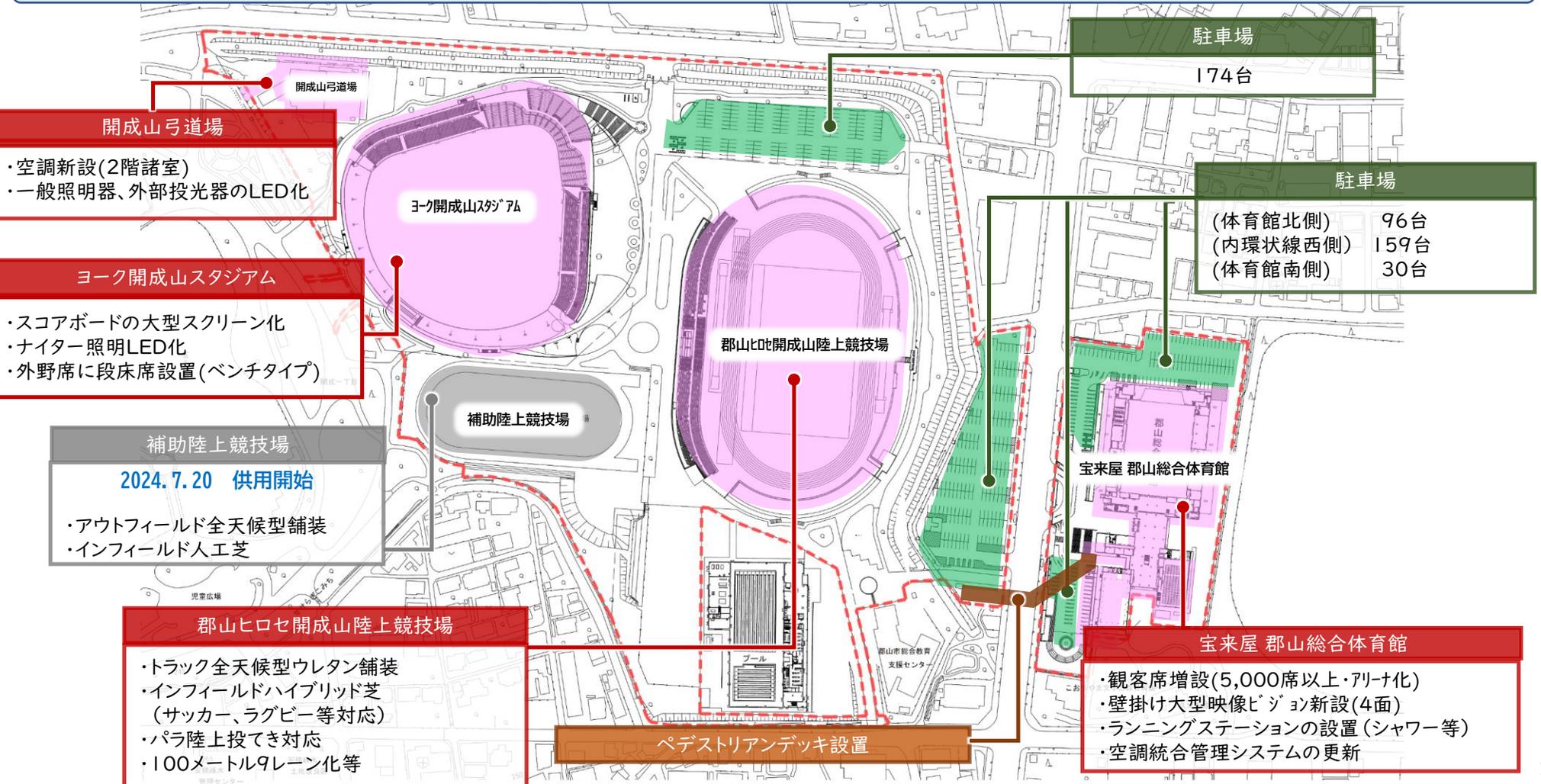
開成山地区体育施設整備事業(PFI事業) 進捗状況と物価変動等における事業費の変更について



令和6年12月定例会
議案調査資料
文化スポーツ部

1 進捗状況

「開成山地区体育施設」の整備は、順調に進捗しており、当初の予定のとおり2025年4月にリニューアルオープンします。なお、セレモニー等の詳細につきましては、PFI事業者と協議中であり、改めてご案内いたします。



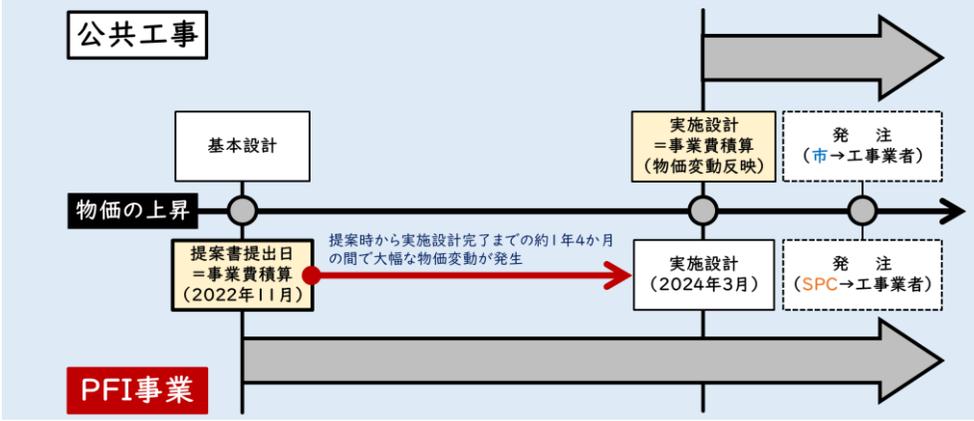
2 事業費の変更（事業契約変更に必要な議案を12月定例会に提出） 起債（充当率90%）の活用

(1) 物価変動 488,285,956円の増額

◆ 今般の著しい物価変動により、事業契約に基づき、施設整備に係る事業費の増額が生じる。

◆ 契約済の施設整備に係る事業費 6,603,850千円に対し、488,286千円の増額となる。(約7.4%増)
 ※2022年11月～2024年3月の物価変動を反映

■ 物価変動のイメージ



■ 物価上昇率の確認

(一社) 建設物価調査会の建築費指数の上昇率で求める。

NO	項目	起算となる指数 (2022年11月)	基準となる指数 (2024年3月)	上昇率
1	建築分	117.0	125.3	1.070
2	設備分	111.3	125.2	1.124
参考: 公共工事積算 同期間の上昇率				建築 1.107 設備 1.148

(2) 追加工事 73,948,985円の増額

◆ 実施設計や施設運用の詳細検討段階において、利用者の安全性のさらなる向上等を図るもの。

- (総合体育館) 有事の際、観客をより安全に避難させるための階段の仕様変更
- (開成山野球場) 安全、防犯対策のための外部倉庫へのシャッターの設置
- (各施設) 工事により判明したアスベストの除去 など

◆ 契約締結後における設備の経年劣化により、更新の必要性が生じたもの。

- (総合体育館) 非常用照明蓄電池の劣化による更新
- (総合体育館) 建具等修繕 など

これら追加工事によって、利用者の安全性の確保を徹底するとともに、開成山地区体育施設のリニューアルオープンに万全を期す。

いずれも、施設運用の検討段階及び契約締結後の経年劣化によるものであり、12月補正予算として計上する。